

CIPA

2011 vol.16

通信

communication

〒731-5135

広島市佐伯区海老園 1-13-7

(有)エルイーオー設計室 内

tel : 082-923-2132

fax : 082-922-0018

e-mail : cipa@cipa21.com

中国インテリアプランナー協会

Chugoku Interior Planner's Association

<http://cipa21.com>



神秘の島、「宮島」特集

JIPA

全国大会 in 宮島にむけて

東日本大震災被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます

会長のつぶやき

友が来て、嚴島神社を案内するたびに必ず立ち寄るのが本殿の裏手にある不明門（あけずのもん）です。岡田貞治郎著「宮島の古建築」によりますと、本瓦葺切妻の四つ足門は室町時代のもので、扉は豎板のはぎ目に出刃包丁のような形の合釘を使っはぎ合わせているし、八双金物の形や、豎框（たてがまち）より横棧の方が厚いことなどから平安時代のものを襲用したらしいと。そしてこの門は、高潮などでご本殿が危険になった時に、神様をお供して御山にお移しするためのものらしいと。神様は扉があかずとも通り抜けられるのだと。何回となく友に語ってきました。このことを三浦正幸先生に尋ねてみると、一蹴されました。本殿は創建以来（千年以上も）安泰であり、防災対策が施されている、しかも神様はいざという時には軽やかに天空に昇られるとのことでした。

（日高卓三）



J I P A in 宮島 によせて (J I P A 2011 全国大会)

厳島神社のギリギリの美と

「想定外」なしの防災

厳島神社の海上社殿は平清盛が平安末期に創始しました。なぜ海の上に建っているのかという最大の謎について、元来は陸地であったところを人造の入り江にして神の宮殿を設けた、という新説をお話したく思います。

厳島神社本殿の特色

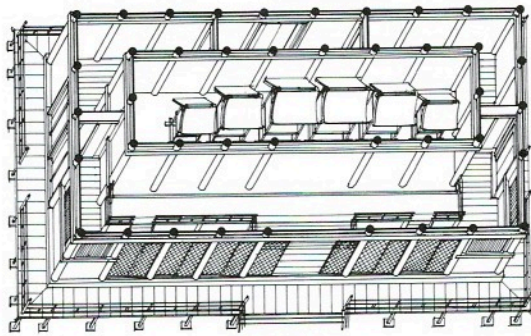
厳島神社本殿の平面は大変に大きく、正面間口が23・7m、奥行きが11・5mもあつて、純粋な神社本殿としては日本史上最大です。通常の本殿のおよそ100倍もあります。また、この本殿は大変開放的で、正面のところには格子戸がなく、内陣と外陣の境には柱が立っているだけで、扉や壁が一切ありません。御簾と壁代があるだけです。

そうした特異な本殿形式は、この本殿の中に玉殿(ぎょくでん)という小型の本殿を安置することから生じています。本殿内陣の中に六基もの玉殿が入っており、そのために巨大で開放的になったのです。

これらの玉殿は一基ずつが独立した本来の本殿で、複数の本殿をまとめて巨大な本殿の中に収納しているのは、この本殿が海上に建つために外ならないのです。通常の小型本殿では、災害時に流失してしまう虞があるからです。

付属社殿の造形概念は寝殿造

厳島神社の各社殿の形式や意匠は、平清盛の時代の寝殿造の殿舎からとつています。厳島神社の拝殿は寝殿造の寝殿に相当します。拝殿の前に突き出している被殿は、入母屋造の妻入であつて、さらに正面の屋根の中央が一段切り上がつています。こうした形式は寝殿造の対屋と全く同じです。拝殿の両脇の内侍橋は、寝殿造の透渡殿と同じ形です。社寺の回廊は聖と俗との結界ですが、厳島神社の回廊は通路になつています。寝殿造の中間廊は寝殿に至る正式な玄関通路です。厳島神社の拝殿・被殿・内侍橋・回廊といった付属社殿の形態は、寝殿造そのもので、殿舎の配置を変えたようなもので



厳島神社本殿復元見取り図

暴風による災害

厳島神社の社殿の立地は自然災害に対して完璧に配慮されていません。波穏やかな瀬戸内海に位置し、しかも背後は弥山という高い山が防風帯となつています。しかし、台風の時ともなれば、強風が吹きます。1991年の19号台風という巨大台風が日本全土を襲つた時には、厳島神社の能舞台が完全に倒れ、厳島神社壊滅という報道がなされました。しかし、それは間違つた報道で、倒れたのは能舞台とその付属楽屋および楽房だけでした。能舞台とその付属楽屋は清盛の頃にはなかつた社殿ですし、楽房はごく簡易的な付属社殿なのです。清盛の頃からあつた主要社殿(本殿・拝殿・被殿・回廊)はほとんど無傷でした。そうした主要社殿では、椽皮葺の椽皮の古くなつて弾力がなくなつたものが強い風に吹き折られて飛ばされたにすぎず、大被害というのは正しい評価ではありません。過去の記録を調べると、厳島神社が大暴風雨に見舞われるのは、数百年に1回ぐらいでした。記録でわかる第1回目が正中二年(1325)で、大鳥居と平舞台先端のところにある小さな門客神社社殿・楽房が大風によつて倒壊しています。19号台風で倒れたのは門客神社・楽房で、まさに同じ付属社殿だけが被害を受けたこととなります。もつともその頃には能舞台はなかつたので、能舞台は壊れていません。ほぼ200年後の天文六年(1537)には、高潮と大風によつて

門客神社・楽房が破れたという記録があり、全く同じです。何百年に1回の大風によつて平舞台の先の小さな付属社殿だけが倒壊するに過ぎないのです。そこで、厳島神社を吹き抜ける暴風の通り道を見ると、神社の裏側すなわち真南の方向に弥山の頂上まで通じる深い谷筋です。頂上部は少しへこんで、まるでフタコブラクダのこの間みたいな格好になつています。超巨大台風に向かって吹き込む強風がこの谷の方向と完全に一致したとき、すなわちちょうど真南の風になつた時だけ、この谷筋を風速50mを超える強風が吹き降りて、それによつて先ほどの付属社殿が壊れるのです。そうなる確率がどうも何百年に1回しかないのです。その時でも、本殿・拝殿・被殿・回廊などの主要社殿については、超巨大台風による強風はその屋根の上を飛び越えてしまい、地上に吹き下りてくるのは平舞台の先です。風が当たらないところを選んで主要社殿を建てていることになりました。したがつて、そこが安全だということは、海上の大社殿を造つた時にすでに知られていたらしいのです。

土石流による埋没

厳島神社は何度も土石流に襲われています。その最近のものは昭和二十二年に日本を襲つた枕崎台風による豪雨でした。土石流が発生し、厳島神社の境内地が土石流の土砂で覆われて陸地化してしまいました。その時に堆積した土砂の



高さは、回廊の床面よりも高かったのです。

その前にも土石流が起こっており、元文四年（1739）の土石流も大変ひどくて、やはり嚴島神社の境内を埋めてしまったようです。その時に埋まった土砂を処理するために、海面の埋め立てが行われ、嚴島神社北西に延びる「西の松原」という長い陸地が出来ています。昭和二十年の土砂も西の松原に捨てられました。したがって、社殿の回廊の終点から海に向かって長くのびる陸地は、土石流の排土によって築かれたものです。それ以前の土石流は天文十年（1541）に起こり、本殿後方にあった本地堂が埋没したといいますが、おおよそ200年に一度の割で嚴島神社は土石流に見舞われ、その度に境内地が埋没しています。すなわち、この入り江は元来は海ではなく、はるか以前から陸地であったはずなのです。

高潮による被害

海の中に建っているので、高潮による被害も深刻です。嚴島神社の社殿は美しさを大事にしており、しかもこの美しさは海上に浮かんだような姿にあります。そのため、社殿の床高は極力低く設計されています。床下は美しくないので、床高が一番低いのは回廊です。床高が一番高いのは回廊であって、年間で一番潮位が高くなる九月の大潮の満潮時には、回廊の床板ぎりぎりまで海面が上昇してきます。回廊床高は、平常時の最大潮位に対してぎりぎりに設計され

ているのです。毎年1回か2回ぐらいいは台風が接近して高潮に見舞われますが、その時は当然回廊の床を越えて海面が上がり、回廊は床上浸水になります。それは当然最初から想定されたことです。回廊床板が水没しても、拝殿と祓殿の床は回廊よりも長押1本分だけ高く、この長押1本分の高さの差でぎりぎり助かっています。ところが数年に1度のもっと大きめの台風が来ると、拝殿と祓殿の床も水没してしまいます。それでも本殿外陣の床が拝殿よりも若干また高くなっているのです、この若干の差で数年に1度来る大台風でも本殿の外陣は大丈夫なように設計されています。

そして、230年に1回来るような特別に大型の台風時には、本殿の外陣も水没します。過去の記録を見ると、例えば、室町時代の後期においては、永正六年（1509）・大永八年（1528）・天文六年（1537）・天文二十年（1554）に高潮があつたことが分かり、230年に1回ずつ本殿の外陣は水没していました。しかし、本殿内陣がまた1段高くなつており、その前には階段で4段分の高さの差があります。この4段というのが非常に厳密に計算されているようです。何百年に1度の超巨大台風の時、もちろん1991年の19号台風の時もそうだったのですが、この本殿の階段の下から3段目までは水没するが、それより上には水面が絶対に上がらないのです。すなわち内陣の中、

神体を納めてある玉殿だけは絶対に水没しないように、床高の設定が厳密にされています。長期にわたる潮位の観察に基づいて各社殿の床高を決めているらしく、これには想定外は絶対にありません。

清盛の造営以前の状況

しかし、清盛以前において、現在地がまだ陸地であつたころから、そこに既に社殿があつたとしてもおかしくありません。すくなくとも数百年間の自然観察をしていないと、海上の社殿は成立しません。どこの辺りに社殿を破壊するような暴風が吹き降りるか、どこの辺りに土石流が直撃するか、高潮ではどこまで水面が上がるか、そうしたことを全部考慮した上で、海上の社殿を創建したと思わざるを得ません。

清盛が海上の社殿を造営する以前は、そこは陸地であつて、その陸地の上に往古から社殿が建つていたと想像されます。その時代の嚴島神社の社殿の状況は、現在の本殿の中に格納されている六基の玉殿から想像されます。六棟の小型の本殿が、陸地であつた現在の本殿の位置に個別に建つていたようです。

清盛の嚴島神社造営

清盛は、奇抜でしかも日本一の大社殿を目論んで、根本的に嚴島神社を造り替えたと考えられます。清盛の時代は、平安京の貴族の邸宅である寝殿造には正面に人造の池がありました。寝殿造を嚴島神

社社殿の造形の原型とする際に、寝殿造の正面の池を広大な海に変えたのです。

海上に浮かぶがごとくという造形の発想は、寝殿造と池からの発案でしょうが、もう一つに、平安末期の浄土教の影響も考えられます。阿弥陀如来の極楽浄土の殿堂は、極楽の蓮池の上にそびえ立っているからです。宇治平等院の鳳凰堂も同じ構成で、池のなかに建ちます。その発想を遙かに膨らませると、海上に建つ大社殿となります。阿弥陀の宮殿が蓮池の中にあるのなら、嚴島神社では、神の住む宮殿を壮大な海上に造営しようというのが、清盛の人並み外れた崇高な発想だったのです。

Profile



三浦 正幸
みうら まさゆき

広島大学大学院文学研究科教授・工学博士・一級建築士

1954年、名古屋市の生まれ。東京大学工学部建築学科卒業。広島大学工学部助教授を経て、1999年から現職。専門は日本建築史・文化財学。著書は『城の鑑賞基礎知識』至文堂、『城のつくり方図典』小学館、ほか多数。愛媛県・下関市・広島市・尾道市・竹原市などの文化財審議会委員、宇和島城・松山城・岡山城・三原城・諏訪原城・横須賀城などの史跡整備委員会委員などを兼任。



平家琵琶 荒尾 努 氏 (奉納演奏)

J I P A in 宮島 によせて (J I P A 2011 全国大会)

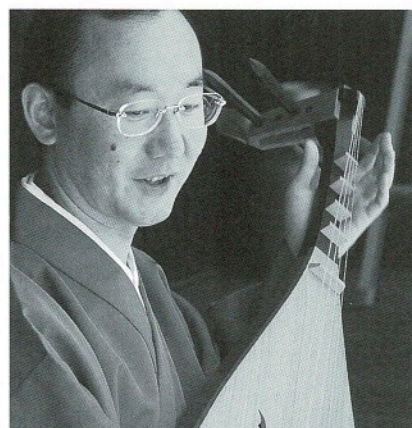
この度、中国インテリアプランナー協会さんのご縁で、十一月二十六日に宮島厳島神社千畳閣で平曲を弾き語らせていただきます。荒尾努です。今回は皆様に平家ゆかりの宮島で平家の語りと琵琶の調べを聞いていただけますこと、本当に嬉しく思います。

私が宮島で平家を弾き語るのに2つの理由があります。1つは大好きな平家一門の語りを平清盛公を始めとする平家一門がこよなく愛した宮島で平家の語りを聞いて欲しいということ、1つは厳島神社の三姫神の一人市杵嶋姫命は転じて弁財天となります。

江戸時代に宮島に渡った僧誓真が夢で弁財天を見て、その弁財天の持っていた琵琶をモデルにして、宮島の特産品である杓子を考案し、今に至っていること。つまり、「平家を語り、琵琶を弾く。盲目の琵琶法師によって語り継がれてきた八百年続く伝統文化」である平曲にとつては、平家も琵琶も宮島ととても深い関わりがあるということなのです。

そして、平曲は何より私が大好きな平家一門の鎮魂のために語られるもので、たくさんの方々に聞いていただければいたくほかに、鎮魂となるということ、平家の愛した宮島で平家の語りを聞いてもらうというのが何より素晴らしいことだと思います。

現在では、宮島観光大使の私が



どうして宮島で平家を語り始めたかという点、平成十五年十二月のクリスマスに初めて厳島神社祓殿で奉納演奏をしたのがきっかけでした。その頃は演奏会もほとんどない社会人一年目の琵琶法師で聞きに来てくれたのも神社の福田禰宜と観光協会の濱田さんだけでした。このご縁が宮島と私の結びつけるスタートでした。

翌年、思いもかけない事態が宮島を襲いました。平成十六年九月七日に台風十八号によって厳島神社は甚大な被害を蒙りました。

厳島神社の美しさは自然との調和の中にあり、海とのせめぎあいの中で究極の美を生んでいます。ですから、自然との脅威といつても隣り合わせなのです。

今年三月十一日未曾有の大地震が東北から関東を襲いました。津波による被害は甚大でまさに目を覆いたくなる様な惨状です。

自然は時に優しく、時に厳しく、また人間の小ささを感じさせます。災害は本当に辛く苦しいことですが、宮島を襲った台風は私にとつては大きな転機となりました。

台風で大きな被害を受けた宮島には観光客が来なくなりました。観光客が来なくなったのが、古の音色という企画でした。誉を私は預かることが出来、本当に感無量でした。

以来、多い時には毎週平曲、薩摩琵琶、篠笛の奏者が代わる代わる演奏を千畳閣で行いました。古の音色は主催者をいろいろ変えながらも継続し、回数は少なくなつたものの、千畳閣で古の音色は継続されてきました。

これは神社や観光協会の方々の理解なくしてはありえないことであり、災害から始まったとはいえ、私にとつては大きな変革をもたらしてくれました。

今回の東日本大震災もすべてがマイナスではなく、必ず何か素晴らしいプラスになるきっかけを産むと思います。

台風復興では、復興支援の厳島神社国宝展で勸進の琵琶法師もさせていただき、奈良国立博物館や東京藝術大学美術館で演奏をして、CDの売上の一部を神社に寄進するなどもさせていただきました。

以来、宮島では古刹宝寿院での平家物語の講義「荒尾塾」、島民のお祭り社籠、春を呼ぶ清盛まつり

の武者行列に琵琶法師で参加するなどして、本当に宮島とは深い縁をもらつて、現在に至つていてと思います。

平家一門の愛した宮島で平家を語り、多くの人に聴いてもらう、まさに平家の琵琶法師にとつては琵琶法師の冥利に尽きることはないかと思つています。

最後になりますが、私は平家一門が大好きです。平清盛公を筆頭とする平家一門は壇ノ浦の合戦まで一門が運命を共にします。





親が子を愛し、子が親を愛し、家族、一門、主従の絆、縁というものをとっても大事にした、人の痛みに分かる心の優しい人たちが平家ではなかったかなと思います。

また、平家の家族のあり方は日本人の理想とすべき家族像であり、平家物語は時代の節々に取り上げられ、今を生きる我々にいろいろな疑問や生きる指針を与えてくれます。

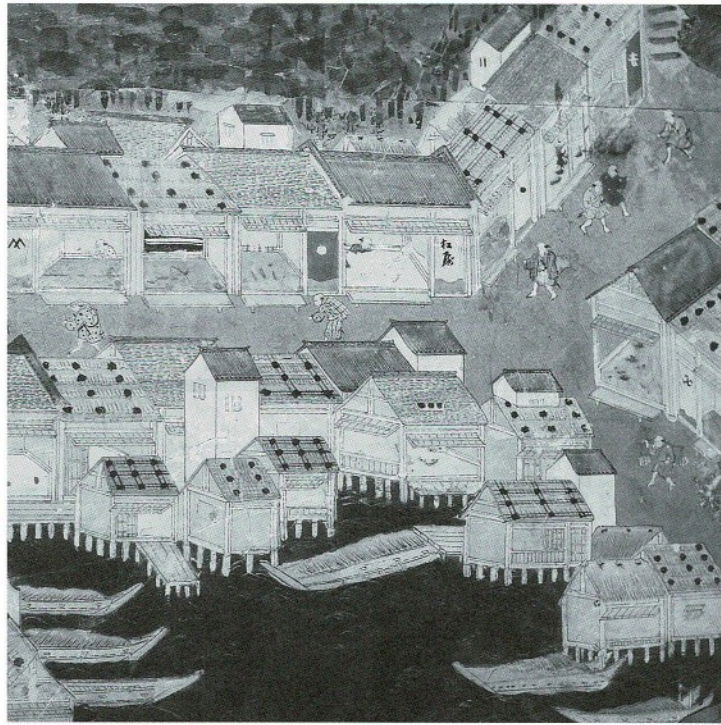
そして、2012年のNHK大河ドラマは「平清盛」です。2005年の「義経」に続いての平家を中心の物語。

これだけ、平家に注目が集まるのは、高度成長が終わり、物質の豊かさは手に入れたものの、心の豊かさをあまり感じない日本人が、豊かさの絶頂の中で滅亡への道を歩まざるを得ず、滅亡の運命を受け入れた平家に自然と共感を抱いているからではないかなと思います。

来年の大河ドラマでは、平家一門の優しさ、温かさ、素晴らしさが少しでも伝えられれば嬉しく思います。

私は平家一門が大好きで、平家の素晴らしさを伝えるために、平家を語っています。

皆さんが少しでも平家を好きになつてくれればと思います



野坂家屏風の一部分（宮島の昔絵）



Profile

平曲弾き語り奏者 荒尾 努

平曲（正調平家琵琶）弾き語り奏者。1979年東京生れ。1999年金田一春彦先生・須田誠舟先生の下で、平曲を学び始め、現在も指導を受ける。

現在は、慶應義塾大学法学部政治学科を卒業後、三菱重工業（株）航空宇宙事業本部に勤めながら、数少ない平曲継承者として、一人でも多くの人に平曲の語りを聞いてもらうため、平家一門の素晴らしさ、優しさを伝えるために、平家ゆかりの厳島神社や宮崎県椎葉村を始め、全国の神社仏閣、学校、平家に関連する各種イベントを中心に積極的に演奏、講演活動を行っている。

また、2005年には宮島観光大使に就任、2007年からは慶應義塾大学の非常勤講師となり、活躍の場を広げている。最近では、平曲の琵琶法師としてNHK探検ロマン世界遺産「海上の社殿折りは時を越えて」広島・厳島神社」に出演、映画「禅ZEN」では琵琶演奏を担当するなど各メディアでも活躍し、平曲の普及活動に努めている。



厳島は昔から 神の島と崇められていた。

その所以は・・・

厳島という島名は、齋（いつき）島から由来するものであり、神を齋き祭る島である事を意味している。

厳島神社の祭神は天照皇大神と素戔鳴尊（すさのおのみこと）が高天原で剣玉の御誓（うけい）をされた時にご出現された神々、市杵島姫命（いちきしまひめのみこと）、田心姫命（たごりひめのみこと）、湍津姫命（たぎつひめのみこと）である。

逸話の中に、姫神様が、紅の帆を揚げた船でやって来て、佐伯鞍職に御殿を造って欲しいと仰せられた。どの入江に御祭神をお祭りする御殿をつくるかと島を捜しておられたとき、つがいの鴉が飛来して来て船を導いた。姫神様は鴉の先導のもと、島の浦々を巡り、海水のさし引きするこの地を選んで御社殿を建てたと伝えられている。

今でも神事として「お島廻り（おしめぐり）」と「お島喰い式（おとぐいしき）」が受け継がれている。お島廻りは杉之浦、鷹巣浦、腰少（こしほ）浦、青海苔（あおのり）浦、山白浜、須屋浦、御床の七神社を巡拝する。

御島喰い式は、青海苔浦神社と山白浜神社の間に鎮座する養父崎神社の沖100-300メートルの海上で行われている。

神主佐伯鞍職（さえきのくらのもと）によって社殿が創建されたのは、593年の推古天皇元年の年、と伝えられている。

厳島神社は、皇室、国家の守護神として古くから尊信をうけられ、また、海上安全の神として崇められた。その後、厳島神社を篤く信仰した平清盛が、仁安3年（1168年）に今の様式、寝殿造りとし、現在の規模に改築した。平家一門のみならず、多くの皇族、貴族が参詣された。厳島神社への崇敬は、平家から源氏の世になっても変わる事なく続き、時代が移り、室町時代の足利尊氏や善満、戦国時代の大内氏や毛利氏にからも崇敬されてきた。

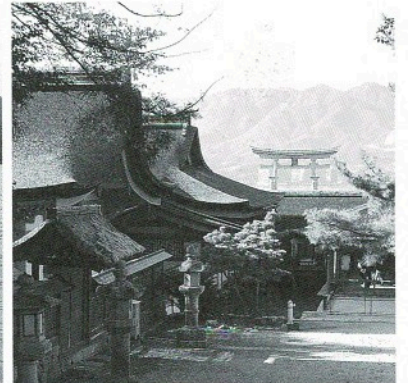
日本三景のみならず、平成8年にはユネスコの世界遺産にも登録され、厳島神社を始めとし、背後の御山が、人類の文化遺産として近年、外国からの観光客も年々増えている。背後の御山、弥山は806年に弘法大師によって開かれた霊場である。弥山には1200

年間一度も消えたことのない『消えずの火』をはじめ、弥山には七不思議が伝えられている。また、宮島の島自体が観音様の寝姿に見える。人々が対岸や海上からこの島の姿を見て、神の島と崇められてきた所以とも言えるだろう。

宮島と、 モン・サン＝ミッシェル

平成20年10月フランスの聖地であり、同じく海上にある世界遺産のモン・サン＝ミッシェルと宮島は観光友好都市として提携し、共通のテーマに基づいたイベントなどを行い、文化交流をしている。（宮島棧橋には、その時の紹介コーナーが設置。モン・サン＝ミッシェルの模型も必見である）

2009年1月～11年3月の世界最大の旅行口コミサイトを運営しているトリップアドバイザー（米国）の日本法人がまとめた満足度ランキング「外国人に人気の日本の観光スポット・トップ20」で1位に選ばれ、海外からの観光客も年々増えている。





古い工房の奥の風景

ある日、私達は宮島の町家通りを歩いていた。日曜日だというのに、その当時は裏通りのこの道は観光客の姿は殆ど無く、地元の人達の為のお店が所々にある位で、昔ながらの生活の匂いがしている通りだった。まだ昔の遊樂の名残らしき2階の格子の手すりや町家の形態をそのままに残しているそんな通りを探索することは、普段、見慣れた観光地から新鮮な発見の場として様変わりするのである。古い道具に囲まれた暗い部屋の中で小さな電灯の下で何やら熱心に制作している老人の姿に魅せられ思わず写真に納めた。私達の存在に気がついたその老人は、嬉しそうな笑顔で私達に手招きした。その工房にある年代物の大工道具、ところせましと埃を被った建具や造作に惹かれ中を見せてもらう事にした。その老人は足が不自由らしく、それでも一生懸命立ち上がり私達に木製の古い椅子を差し出した。どうやら昔は建具職人だったらしいのだが、近年は身体を壊し、小さな小物を制作しているのだという。この界限には、昔ながらのロク口職人やしゃもじ職人の工房が所々残っていた。あまりお客も来ないのか、私達を相手に出来立ての十二支を形どった置物を私達に見せてくれた。

どんどん話しが広がっていく。

隣にあった鳥居の模型から、結局、宮島の鳥居の謂れに話が進んだ。

「昔、昔の事だがね、亀さんという漁師が夢見したんだ。海から地網を上げたら金色の魚がかかっている、その魚がしゃべり始めたんだ。『旅館をしまさい』と。朝、奥さんにこれこれこんな夢を見たんだが、お金もないのに旅館なんてできないよな。そして数ヶ月後の管絃祭（かんげんさい）の前夜、近隣から沢山の舟が集まってきたが、この年に限って台風が直撃して舟に乗っていた人達が陸に上がって避難した。亀さんの家にも、何処でもいいから泊めてくださいと言われて、玄関先から廊下まで人が押し掛けてきた。一夜を過ごした人達が帰り際にお礼にとそれぞれがお金置いてくれたんだと。そのお金を元に、旅館を始めたそう。旅館の名前は亀さんと奥さんの福さんの名を取って、『かめふく』宮島の始めての旅館だった。」

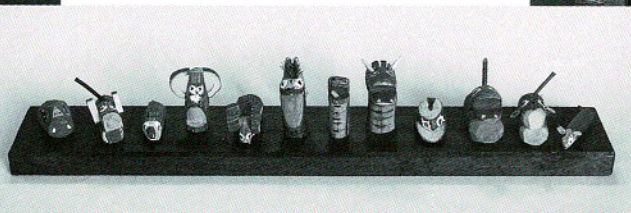
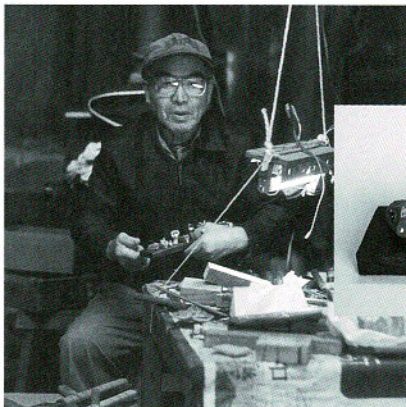
それから数年後、海の上にある小さな鳥居を観光の為に持つと大きい鳥居にしようという計画が持ち上がった。当時、海の上になに大きな鳥居を作るとなると、見積を取ったら当時のお金で大層かかるという。そんなお金ないし、どうしたらいいかと考えていたら、かめふくの亀さんが『私に任せておきなさい』胸を叩いてくれた。亀さんは早速、日本中の力

持ちを捜してきた。当初の見積の工事は、東京の業者で大きな重機を持ってきて建築する計画だったんだが、亀さんは、その重機でする事を人間の力でやろうとしたんだ。結局、沢山の力持ちが集まって、人の手であの鳥居を建てたんだとさ。玄関の戸の所に貼ってある手を見てごらん。その時作業した人の手形があるよ。玄関の外に出てみると、和紙に手に墨を塗ってつけたらしい大きな手形が貼ってあった。手を合わせてみると、私の約1.5倍の大きさである。「結局、亀さんがやったら、最初の3分の2のお金で出来たんだよ。亀さんの所でみんなを泊めてあげて、食事を出してあげて、それでできたもんだよ」嬉しそうに語ってくれた。ふと見ると外はずっかり日が落ちていた。2時間あまりの間、私達は話を聞いていたこととなる。慌てて、ご挨拶をし、その場を立ち去ろうとすると、奥から箱を持ってきた老人は先程やつと出来上がったばかりの十二支の木細工を箱に入れて私達に差し出した。「せっかくなので、持って帰ってください」

これを完成させるまで、一体どの位長い時間がかかった事だろう。私達は深々と頭を下げ、有り難く頂いて帰った。

今、その工房のあった場所はアスファルトの駐車場になっっている。

(中川圭子)



宮島には今もなお、沢山の逸話が語りつがれている
時間(とき)の流れとともに



JIPA 全国大会 in 「宮島」 予告

皆様と宮島でお会いできますのを

楽しみにしております。

2011年十一月二十六日(土)

二十七日(日)

『基調講演・演奏会』

日時：十一月二十六日(土) 午後2時から4時

場所：宮島 千畳閣

会費：無料

講演者：文化財研究者

広島大学教授・三浦正幸 氏

講演題目：「厳島神社のギリギリの美と

『想定外』なしの防災」

演奏：平曲弾き語り奏者・荒尾 努 氏

曲目：「祇園精舎」「大塔建立」「那須与一」



豊国神社「ほうこくじんじや」国重要文化財
通称：千畳閣「せんじょうかく」
桁行41メートル 梁間22メートル 単層
本瓦葺入母屋 木造の大経堂豊臣秀吉公が戦
没者のために、千部経の転読供養をするため
天正15年(1587)発願し、安国寺恵瓊
「あんこくじえい」に建立を命じましたが、
秀吉の死により未完成のまま現在にいたって
います。明治時代に秀吉公と加藤清正公が祀
られ、豊国神社となっています。入母屋造り
の大伽藍で857畳の畳を敷くことができ、
軒瓦には金箔が押してあることから完成して
いれば、さぞや豪華な桃山文化を取り入れた
大経堂になっていたと思われます。また堂内
には、大鳥居が明治8年に建替えられた時に
使った尺定規があります。本尊の釈迦如来
「しゃかにょらい」・阿難尊者「あなんそん
じや」・迦葉尊者「かしようそんじや」は、
明治維新の神仏分離令のときに大願寺に移さ
れています。

『懇親会』

日時：十一月二十六日(土) 午後6時から9時

場所：宮島コーラルホテル 宮島口棧橋近く

会費：未定

現在、40名様分のホテルの宿泊予約(26日夜)をさ
せて頂いております。一泊 約6000円です。ご希望
の方はお早めにご予約ください。

『サブイベント』

おもしろ、宮島探索ツアー

日時：十一月二十七日(日) 午前中

会費：実費

コース(A)宮島、七浦 廻り

船をチャーターして宮島を一周します。

宮島には海から参拝する神社が島に点在しています。

コース(B)宮島、町並み探索

古い町並みをガイドの元、歩いて探索します。

コース(C)宮島、弥山登山

弥山の頂上まで元気な人は歩いてらくらくロープウェイも
あります。消えずの火や巨石のある弥山までの登山です。

*船のチャーターの関係上、(A)コースのお申し込みはお早め
に事務局までお願い致します。人数に達しない場合は、こちら
のコースは中止させて頂く事がございますので、ご了承ください。

Introduction

新規 会員紹介

当協会開催の受験対策講座に受講され、無事合格されました。
おめでとうございます。今後ともどうぞよろしくお祈りします。

松本 祥平さん 日本上水道設計（株）勤務

法人会員紹介

アイカ工業株式会社

730-0037
広島県広島市南区霞 2-9-10
T:082-254-1311
F:082-255-8817
<http://www.aica.co.jp/>
<http://www.aica.co.jp/>

株式会社ウッドワン

738-0022
広島県廿日市市木材港南 1-1
T:0829-32-9833
F:0829-32-9839
<http://www.woodone.co.jp/>

(株)沖田

730-0053
広島県広島市中区東千田町 2-3-17
T:082-243-1101
F:082-247-6237
<http://okitahome.com/>

(株)小城六右衛門商店

739-0651
広島県大竹市玖波 2-8-6
T:0827-57-7001
F:0827-57-3793
<http://www.ogirokuemon.com/>

西武株式会社

730-0843
広島県広島市中区舟入本町 18-3
T:082-292-9740
F:082-295-0073
<http://www.seko.co.jp/>
<http://www.seko.co.jp/>

大光電機株式会社

730-0813
広島県広島市中区住吉町 16-3
T:082-247-6711
F:082-249-5472
<http://www2.lighting-daiko.co.jp>

(株)テックス

732-0052
広島県広島市東区光町 1-6-8
T:082-263-4554
F:082-263-7558
<http://tex-21.com>

トーソー(株)

733-0037
広島県広島市西区西観音町 9-7 1F
T:082-232-0439
F:082-232-0432
<http://www.toso.co.jp/>
<http://www.toso.co.jp/>

ヒロシュウ株式会社

731-1221
広島県山県郡北広島町今吉田
252-1
T:0826-85-1020
F:0826-85-1021
<http://www.hirosyu.co.jp/>

株式会社 PathGate

731-5145
広島市佐伯区隅の浜 2-1-7
藤田ビル
T:082-921-7171
F:082-921-7171
<http://www.pathgate.jp/>

(50音順で掲載しています)

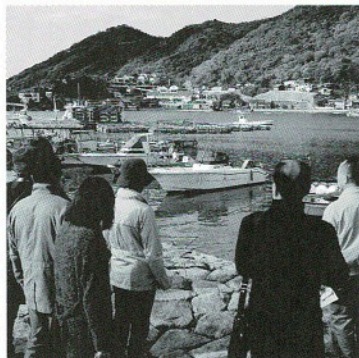
平成 22 年度の活動 あしあと 🐾 🐾

JIPA in 奈良 1300 2010.05.08



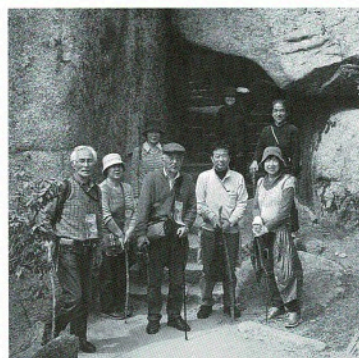
「元興寺から考える、日本の心と文化」国宝元興寺講堂・平城遷都 1300
盛り沢山の内容に日本の奥深さをしみじみ感じる

鞆の浦&仙酔島 (心の充電と見学会) 2010.11.22~23



人生感が変わる宿「ここから...」ネーミングに負けない程、
人生感が変わったどうかは定かだが、近場にこんな穴場があった

宮島町屋探索&花見&弥山登山 2011.04.02



実年齢と肉体年齢のギャップに唖然、これは今後の存続の
為にも恒例（高齢？）行事にしようと思案したのだが...

はて？ ことばについて考えてみた…。

巖 島 宮 島

あれ？ 両方とも似ているぞ？

巖 → □ □ (口が横ならびだ～)

宮 → □ □ (口が縦ならびだ～)

知ってる？ □は元々○が発展したもので、宇宙を表すだって。

じゃあ、それぞれの漢字の意味は？

「巖」の旧字「巖」は「敢」と「厂(かん)」と二つの「口」です。「厂」は切り立った部分を表す文字。「巖」の場合は「崖(かけ)」のこと。そして「口」は、神様への祈りの祝詞を入れる器「口(サイ)」のことです。つまり「巖」という字は神様がいらっしゃると思われていた崖の上の岩場で、お酒を灌ぎ、さらに神への祈りの祝詞を入れた「口」を並べて、おごそかに儀式を行っている字で、そこから「おごそか」の意味となりました。さらにこのような儀式を行う岩場を「巖(がん)」(旧字「巖」と言い、「いわ、いわお」の意味となったのです。

「みや(宮)」は「御屋」であって、このときの「み」は霊的なものに関して用いる接頭語です。竜宮にもあるように、水の意味もある。この身や現実を成立させている生命の力が「みづ」であり、またその生命の力そのもの(霊)が「み」です。「みみみず」はそうやってグルグルとまわる生命の水となる。ちなみに「みなもと」も「水な本」。(白川静 字訓による)

ということは...? 何がわかったかな？

日本語には神祕がいっぱい。

暗号がたくさん隠されているんだね～。宮島にはいっぱい不思議があるよ～。おたのしみに～。

数で知る宮島：<http://www.miyajima.or.jp/pickup/number.html>

編集後記

3.11以降、立て続けに沢山の出来事が起きている。今、自分ができることは...から始めて、いつもより数倍も速いスピードで全てが動いている気がするのは私だけだろうか？

被災地の人達から沢山の事を学んだ。日本人の素晴らしさ、日本人の曖昧さ、甘さ、やりきれない思い等々、TVやインターネットを通じて日々まるでジェットコースターのような日々。でも、それぞれがそれぞれの立場や環境で出来る事が意外にも沢山ある事も知った。そして、今を生きる事の大切さも知った。

インディアンの教えに「7代先の事を考えて行動する」という言葉がある。7代先とまでは行かないが、せめて、次の世代ぐらい安心できる世の中と思うのだが…。

いよいよこの秋に宮島で全国大会が開催される。

今、この宮島の千畳閣の許可が降りた事は奇跡的な事。

開催前には、関係者で巖島神社で正式参拝させて頂き、まずは神様にご挨拶をしてから始まる。

広島という地は始まりの場所だとよく言われる。今年のこの時、宮島に沢山の方々を迎え、神の島での開催を真摯に受け止め、沢山の御霊の追悼と、次への飛躍の足がかりとなりますように…。

皆様とお会いできますのを楽しみにしています。

事務局

〈平成 22 年度 中国インテリアプランナー協会活動記録〉

2010.5.8～9 JIPA in 奈良 1300

2010.6.26 第 17 回総会・親睦会・講演会

2010.10.2 ミニレクチャー

「模型制作の実際」 西村 正弘氏

2010.10.31～11.14 (3 回) 平成 22 年度 IP 試験合格セミナー
インテリアプランナー試験二次試験製図対策講座

2010.11.22～23 見学会・懇親会

瀬の浦&仙酔島 (心の充電と見学会)

2010.11.11～13 IPE C2009

インテリアからの発信「ひと 環境 デザイン」

2011.1.14 講演会

「飲食店と店舗デザイン」 奥原誠次郎 氏

〈平成 23 年度 総会のご報告〉

6 月 11 日 (土) 14:00～15:00

- 広島市南区文化センター
- 平成 22 年度活動報告及び会計報告
- その他 (来年度全国大会に向けて、他)
- 平成 23 年度活動計画及び予算案の承認
- 平成 23 年度総会を上記の要領で開催致しました。
会員の皆様に多数ご参加頂きありがとうございました。

〈事務局より〉

・平成 22 年度会費未納入の方は、早急に納入下さいますようお願い致します。

・住所変更、事務所移転等ありましたらお知らせください。

・新会員募集

当協会では新規ご入会の会員を募集致しております。インテリアプランナー資格者の方をご紹介くださいますようお願い致します。

・国民健康保険にご加入の方へ

CIPA 会員で加入条件を満たす方は、「文芸美術国民健康保険」に加入することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
<http://www.bunbi.com>

・平成 23 年度インテリアプランナー試験対策用テキスト頒布
インテリアプランナー試験参考書のお申し込みは関西インテリアプランナー協会宛にお願い致します。詳細はホームページでも確認できます。

fax:06-6266-5745

<http://www.jipa.net/kipa>

〈(財) 建築技術教育普及センターより〉

平成 22 年度 インテリアプランナー試験の結果

	学科試験	設計製図試験
受験者数	637 人	694 人
合格者数	374 人	190 人
合格率	58.7 %	27.3 %

発行：中国インテリアプランナー協会

〒731-5135 広島市佐伯区海老園 1-13-7

tel: 082-923-2132 fax: 082-922-0018

<http://cipa21.com> mail: cipa@cipa21.com

編集：中国インテリアプランナー協会 事務局 発行日：平成 23 年 6 月

写真：Yuji Nakagawa